

ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・アセアン・フォーカス)

運用報告書(全体版)

第12期(決算日2021年9月13日)

作成対象期間(2020年9月15日~2021年9月13日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2009年12月7日から2024年9月12日までです。	
運用方針	野村アセアン株マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてアセアン(東南アジア諸国連合)加盟国の企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・アセアン・フォーカス) マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 アセアン加盟国の企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・アセアン・フォーカス) マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	み騰落	期中騰落	期中騰落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期(2017年9月12日)	14,793	250	15.0	196.81	20.3	98.3	—	1,341
9期(2018年9月12日)	14,135	200	△3.1	198.05	0.6	98.7	—	1,366
10期(2019年9月12日)	14,467	250	4.1	205.40	3.7	99.4	—	1,682
11期(2020年9月14日)	11,312	50	△21.5	162.95	△20.7	95.2	—	928
12期(2021年9月13日)	15,109	250	35.8	199.36	22.3	97.8	—	917

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*ベンチマーク（＝MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース））は、MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

*MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（出所）MSCI、ブルームバーグ、為替レート（対顧客電信売買相場仲値）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2020年9月14日	円	%		%	%	%
9月末	11,312	—	162.95	—	95.2	—
10月末	11,136	△1.6	158.69	△2.6	95.6	—
11月末	11,023	△2.6	157.89	△3.1	95.1	—
12月末	12,749	12.7	184.97	13.5	95.7	—
2021年1月末	13,183	16.5	186.96	14.7	96.8	—
2月末	13,174	16.5	187.20	14.9	96.6	—
3月末	14,105	24.7	192.74	18.3	96.4	—
4月末	14,443	27.7	201.63	23.7	96.0	—
5月末	14,459	27.8	200.06	22.8	96.7	—
6月末	14,673	29.7	200.18	22.9	96.9	—
7月末	14,928	32.0	195.73	20.1	96.4	—
8月末	14,725	30.2	189.17	16.1	95.1	—
8月末	15,419	36.3	199.48	22.4	97.0	—
(期末) 2021年9月13日	円	%		%	%	%
	15,359	35.8	199.36	22.3	97.8	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

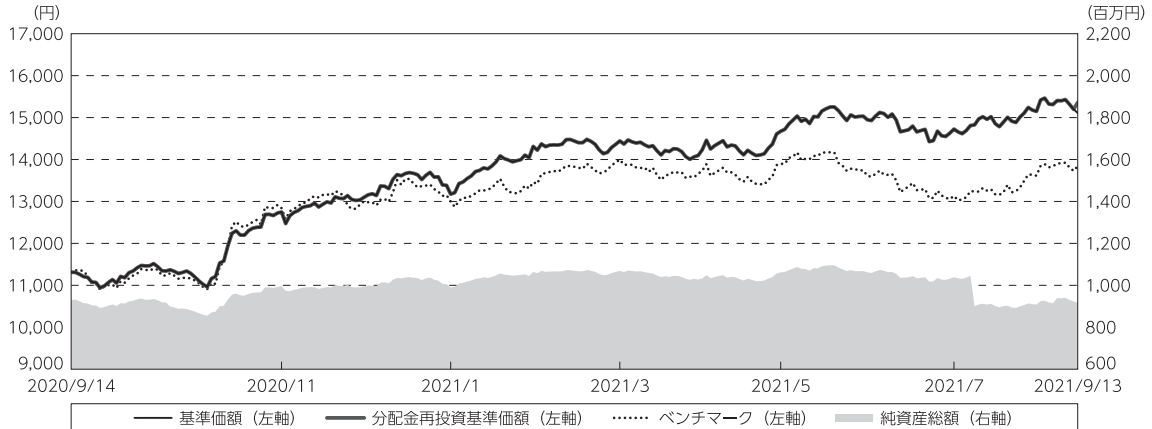
*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年9月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース）です。ベンチマークは、作成期首（2020年9月14日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (下 落) タイの反政府デモの拡大が懸念されたこと、新型コロナウイルス感染者数の世界的な増加と経済成長への影響が懸念されたこと、米国の追加経済対策や大統領選を巡る不透明感が高まったこと
- (上 昇) 米大統領選において民主党のバイデン氏勝利との見方が強まったことで投資家心理が改善したこと、新型コロナウイルスのワクチン実用化による経済活動回復への期待が高まったこと
- (横ばい) 米国の経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種の普及による世界的な景気回復への期待感が強まった一方、米早期利上げ観測の高まりによるアセアン諸国からの資金流出懸念や、アセアン諸国での新型コロナウイルスの新規感染者数の増加などが懸念されたこと
- (上 昇) FRB（米連邦準備制度理事会）による量的緩和縮小の開始時期をめぐる懸念が和らいだこと

○投資環境

アセアン株式市場は、期初、タイの反政府デモの拡大や、新型コロナウイルス感染者数の世界的な増加と経済成長への影響が懸念されたこと、米国の追加経済対策や大統領選を巡る不透明感を背景に下落して始まりました。2020年11月上旬以降は、米大統領選において民主党のバイデン氏勝利との見方が強まったことで投資家心理が改善したことや、新型コロナウイルスのワクチン実用化による経済活動回復への期待が広がったことなどを背景に上昇しました。2021年1月中旬には、英国などでの新型コロナウイルス変異株の感染拡大などが懸念されたことや、米株安などが警戒され投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから反落しました。しかし、3月に入ると、米国の経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種の普及による世界的な景気回復への期待感が強まり、上昇しました。5月には、アセアン域内の新型コロナウイルスの感染再拡大や米インフレ懸念などから下落しましたが、アセアン諸国でのワクチン接種進展への期待や、フィリピンでのマニラ首都圏の行動制限措置の緩和、タイでの追加経済対策などが好感され、上昇しました。6月中旬以降、7月末にかけては、米早期利上げ観測の高まりによるアセアン諸国からの資金流出懸念や、アセアン諸国での新型コロナウイルスの新規感染者数の増加などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。期末にかけては、FRBによる量的緩和縮小の開始時期をめぐる懸念が和らいだことなどから上昇し、当期においてアセアン株式は上昇しました。

為替市場では、2021年1月下旬以降、米国における堅調な企業業績や経済指標、新型コロナウイルスのワクチン接種進展による景気回復期待の高まりを背景に、米ドル高・円安となりました。一方、アセアン諸国通貨は、タイ・バーツが下落（円高）、その他の通貨は上昇（円安）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ [野村アセアン株マザーファンド]

・期中の主な動き

<投資比率を引き上げた主な業種・銘柄>

- ①新型コロナウイルスの検査需要の拡大や、医療ツーリズムの再開などによる業績回復が期待されるBANGKOK DUSIT MEDICAL SERVICE-F（タイ／ヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービス）
- ②電子商取引市場の拡大や、中小商店のデジタル化支援で高い業績成長が見込まれるBUKALAPAK.COM PT TBK（インドネシア／インターネット販売・通信販売）

＜投資比率を引き下げた主な業種・銘柄＞

- ①金価格の下落が懸念されたMERDEKA COPPER GOLD TBK PT（インドネシア／金属・鉱業）
- ②株価が大きく上昇し、バリュエーション（投資価値評価）の割安感が薄れたと判断したDIGITAL MEDIATAMA MAXIMA TBK PT（インドネシア／ソフトウェア）

・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

[ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・アセアン・フォーカス）]

・組入比率

主要投資対象である〔野村アセアン株マザーファンド〕受益証券を、期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

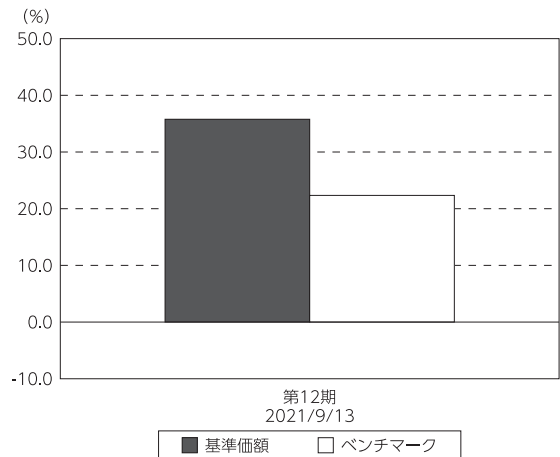
当期は、ベンチマーク（MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース））が22.3%の上昇となったのに対して、基準価額は35.8%の上昇となりました。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

（主なプラス要因）

- ①堅調な業績成長が期待されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったインドネシアのソフトウェア株をベンチマークより高い投資比率としていたこと
- ②ベトナムの堅調な経済動向や株式市場が好感されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったベトナムの資本市場株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース）です。

（主なマイナス要因）

- ①堅調な製品需要や主要株価指数への組み入れが好感されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったタイの電子装置・機器・部品株をベンチマークに比べ低めの投資比率としていたこと
- ②市場予想を下回る決算を発表し、業績見通しの悪化が懸念されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを下回ったフィリピンの食品・生活必需品小売り株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

◎分配金

今期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり250円とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第12期
	2020年9月15日～ 2021年9月13日
当期分配金	250
（対基準価額比率）	1.628%
当期の収益	250
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,109

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[野村アセアン株マザーファンド]

・投資環境

- ①アセアン経済については、多くのアセアン諸国で、新型コロナウイルスの変異株を含めた新規感染者数の増加を受けた外出・移動制限措置の強化の影響で、景気下押し圧力の高い状態が続いていました。4－6月期の実質GDP（国内総生産）成長率は概ね市場予想を上回る結果となったものの、今後の経済見通しについては不透明感が高く、多くのアセアン諸国で下方修正が見られています。一方で、足元では総じて新規感染者数の大幅な増加には歯止めがかかりつつあり、ワクチン接種が徐々に進んできていることから、今後は外出・移動制限措置の段階的な緩和とそれに伴う経済活動の正常化により、景気見通しの不透明感の後退が期待されます。引き続き、アセアン諸国の新規感染者数やワクチン接種などの状況、入国制限や移動規制、景気下支えのための金融・財政政策の動向、アセアン諸国の政治リスクを注視する考えです。短期的には、新型コロナウイルス禍によるアセアン諸国の観光産業や国内消費の回復は不透明な状況が続くことが想定されます。一方で、中長期的には、内需の底堅い成長に加えて、サプライチェーン（供給網）の分断リスクへの懸念を受けた、中国からアセアン諸国への生産拠点の移転などによる投資の拡大を通じて、アセアン経済は堅調に推移すると見ています。
- ②アセアン諸国の株式市場と通貨の動向は、新型コロナウイルスの変異株を含めた新規感染者数やワクチン接種などの状況と各国政府による国境管理、行動制限などの政策動向に加えて、米国の金融政策の動向などにより、変動性の高い展開が続くことが想定されます。足元では、アセアン諸国の一部で、新規感染者数の減少や、外出・移動制限措置の緩和が発表されたことなどが好感されて、外国人投資家の資金流出傾向が反転し、8月月間で資金流入が見られています。今後、ワクチン接種が進展し、新規感染者数が明確に減少傾向に転じることで、経済環境の不透明感が徐々に後退し、さらなる投資家心理の改善や外国人投資家からの資金流入が期待されます。中長期的には、投資環境の改善に繋がる構造改革の進展や、中間所得者層の増加に伴う消費の拡大や高度化を通じた構造的な成長要因により、堅調に推移すると見ております。

・投資方針

銘柄選択は、アセアン諸国の高成長の恩恵を受け、バリュエーションが割安と判断される銘柄を中心に投資する方針です。

[ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・アセアン・フォーカス）]

[野村アセアン株マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行ないます。実質組入外貨建資産については、引き続き、為替ヘッジを行わない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年9月15日～2021年9月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 247	% 1.810	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(120)	(0.878)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(120)	(0.878)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	16	0.115	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(16)	(0.114)	
（ 新 株 予 約 権 証 券 ）	(0)	(0.000)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	15	0.110	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(15)	(0.110)	
（ 新 株 予 約 権 証 券 ）	(0)	(0.000)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	29	0.214	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(29)	(0.210)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	307	2.249	
期中の平均基準価額は、13,668円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

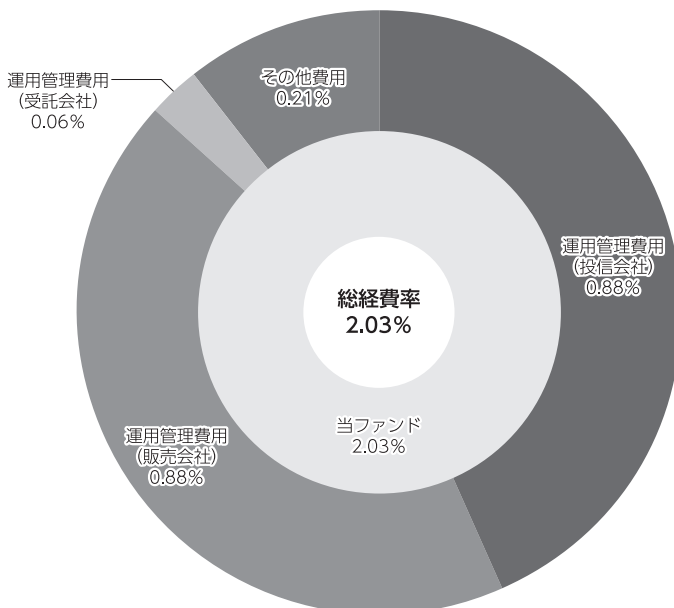
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年9月15日～2021年9月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村アセアン株マザーファンド	千口 18,662	千円 38,794	千口 179,819	千円 366,678

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年9月15日～2021年9月13日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村アセアン株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	915,875千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	962,299千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.95	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月15日～2021年9月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年9月13日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村アセアン株マザーファンド	千口 562,464	千口 401,307	千円 915,382

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村アセアン株マザーファンド	915,382	96.8
コール・ローン等、その他	29,949	3.2
投資信託財産総額	945,331	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村アセアン株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（908,145千円）の投資信託財産総額（918,458千円）に対する比率は98.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.98円、1シンガポールドル=81.96円、1リンギ=26.5498円、1バーツ=3.36円、1フィリピンペソ=2.2052円、1ルピア=0.0078円、100ドン=0.4831円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	945,331,808
コール・ローン等	26,893,097
野村アセアン株マザーファンド(評価額)	915,382,213
未収入金	3,056,498
(B) 負債	28,123,694
未払収益分配金	15,176,358
未払解約金	3,516,025
未払信託報酬	9,414,250
未払利息	7
その他未払費用	17,054
(C) 純資産総額(A-B)	917,208,114
元本	607,054,329
次期繰越損益金	310,153,785
(D) 受益権総口数	607,054,329口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,109円

(注) 期首元本額は821,100,056円、期中追加設定元本額は39,764,201円、期中一部解約元本額は253,809,928円、1口当たり純資産額は1.5109円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額3,386,008円。(野村アセアン株マザーファンド)

○損益の状況 (2020年9月15日～2021年9月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,383
支払利息	△ 1,383
(B) 有価証券売買損益	254,245,871
売買益	315,190,383
売買損	△ 60,944,512
(C) 信託報酬等	△ 18,144,265
(D) 当期損益金(A+B+C)	236,100,223
(E) 前期繰越損益金	△ 213,137,189
(F) 追加信託差損益金	302,367,109
(配当等相当額)	(111,344,318)
(売買損益相当額)	(191,022,791)
(G) 計(D+E+F)	325,330,143
(H) 収益分配金	△ 15,176,358
次期繰越損益金(G+H)	310,153,785
追加信託差損益金	302,367,109
(配当等相当額)	(111,414,360)
(売買損益相当額)	(190,952,749)
分準備積立金	9,680,772
繰越損益金	△ 1,894,096

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2020年9月15日～2021年9月13日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年9月15日～ 2021年9月13日
a. 配当等収益(経費控除後)	16,424,280円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	300,473,013円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	8,432,850円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	325,330,143円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	5,359円
g. 分配金	15,176,358円
h. 分配金(1万口当たり)	250円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	250円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村アセアン株マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日2021年9月13日）

作成対象期間（2020年9月15日～2021年9月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	アセアン（東南アジア諸国連合）加盟国の企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性、流動性等を総合的に勘案して、投資銘柄を選別します。また、トップダウン・アプローチによる国別配分、業種別配分を加味し、ポートフォリオを構築します。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	アセアン加盟国の企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
8期(2017年9月12日)	19,739	17.1	196.81	20.3	98.5	—	1,338
9期(2018年9月12日)	19,469	△1.4	198.05	0.6	98.9	—	1,363
10期(2019年9月12日)	20,614	5.9	205.40	3.7	99.6	—	1,679
11期(2020年9月14日)	16,481	△20.0	162.95	△20.7	95.4	—	927
12期(2021年9月13日)	22,810	38.4	199.36	22.3	98.0	—	915

*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*ベンチマーク(=MSCI AC ASEAN Index(税引後配当込み・円換算ベース))は、MSCI AC ASEAN Index(税引後配当込み・ドルベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

*MSCI AC ASEAN Index(税引後配当込み・ドルベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。(出所) MSCI、ブルームバーグ、為替レート(対顧客電信売買相場仲値)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首)	円	%		%	%	%
2020年9月14日	16,481	—	162.95	—	95.4	—
9月末	16,237	△1.5	158.69	△2.6	95.8	—
10月末	16,096	△2.3	157.89	△3.1	95.3	—
11月末	18,651	13.2	184.97	13.5	95.9	—
12月末	19,316	17.2	186.96	14.7	97.0	—
2021年1月末	19,332	17.3	187.20	14.9	96.8	—
2月末	20,730	25.8	192.74	18.3	96.5	—
3月末	21,262	29.0	201.63	23.7	96.2	—
4月末	21,317	29.3	200.06	22.8	96.9	—
5月末	21,668	31.5	200.18	22.9	97.1	—
6月末	22,078	34.0	195.73	20.1	96.6	—
7月末	21,810	32.3	189.17	16.1	95.3	—
8月末	22,877	38.8	199.48	22.4	97.2	—
(期末)						
2021年9月13日	22,810	38.4	199.36	22.3	98.0	—

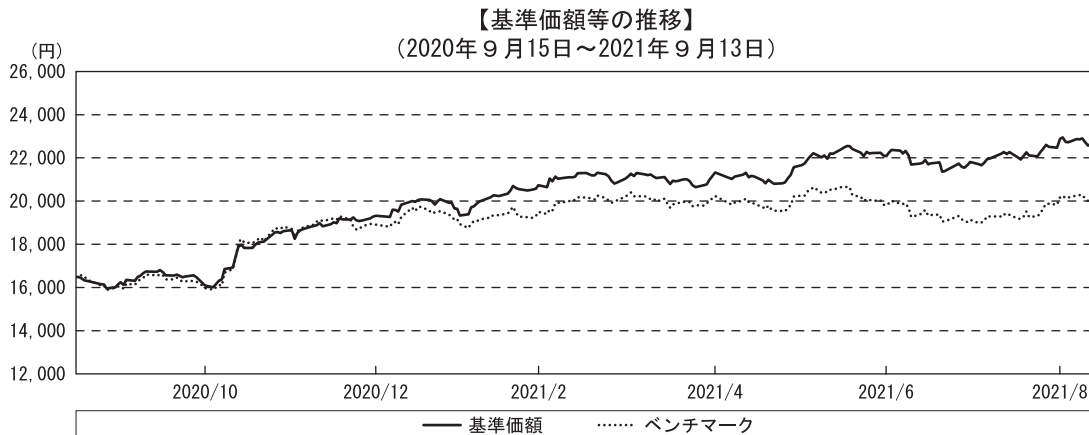
*騰落率は期首比です。

*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、MSCI AC ASEAN Index (税引後配当込み・円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首16,481円から期末22,810円となりました。

- (下 落) タイの反政府デモの拡大が懸念されたこと、新型コロナウイルス感染者数の世界的な増加と経済成長への影響が懸念されたこと、米国の追加経済対策や大統領選を巡る不透明感が高まったこと
- (上 昇) 米大統領選において民主党のバイデン氏勝利との見方が強まったことで投資家心理が改善したこと、新型コロナウイルスのワクチン実用化による経済活動回復への期待が高まったこと
- (横ばい) 米国の経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種の普及による世界的な景気回復への期待感が強まった一方、米早期利上げ観測の高まりによるアセアン諸国からの資金流出懸念や、アセアン諸国での新型コロナウイルスの新規感染者数の増加などが懸念されたこと
- (上 昇) FRB (米連邦準備制度理事会) による量的緩和縮小の開始時期をめぐる懸念が和らいだこと

○当ファンドのポートフォリオ

・期中の主な動き

<投資比率を引き上げた主な業種・銘柄>

- ①新型コロナウイルスの検査需要の拡大や、医療ツーリズムの再開などによる業績回復が期待されるBANGKOK DUSIT MEDICAL SERVICE-F（タイ／ヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービス）
- ②電子商取引市場の拡大や、中小商店のデジタル化支援で高い業績成長が見込まれるBUKALAPAK.COM PT TBK（インドネシア／インターネット販売・通信販売）

<投資比率を引き下げた主な業種・銘柄>

- ①金価格の下落が懸念されたMERDEKA COPPER GOLD TBK PT（インドネシア／金属・鉱業）
- ②株価が大きく上昇し、バリュエーション（投資価値評価）の割安感が薄れたと判断したDIGITAL MEDIATAMA MAXIMA TBK PT（インドネシア／ソフトウェア）

・為替ヘッジ

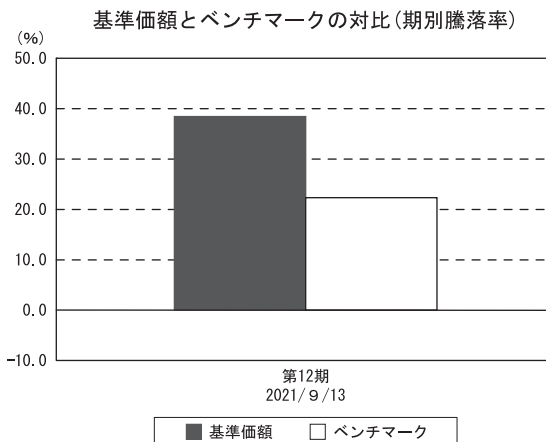
当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当期は、ベンチマーク（MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース））が22.3%の上昇となったのに対して、基準価額は38.4%の上昇となりました。

（主なプラス要因）

- ①堅調な業績成長が期待されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったインドネシアのソフトウェア株をベンチマークより高い投資比率としていたこと
- ②ベトナムの堅調な経済動向や株式市場が好感されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったベトナムの資本市場株をベンチマークより高い投資比率としていたこと



（注）ベンチマークは、MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース）です。

(主なマイナス要因)

- ①堅調な製品需要や主要株価指数への組み入れが好感されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったタイの電子装置・機器・部品株をベンチマークに比べ低めの投資比率としていたこと
- ②市場予想を下回る決算を発表し、業績見通しの悪化が懸念されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを下回ったフィリピンの食品・生活必需品小売り株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

◎今後の運用方針

・投資環境

- ①アセアン経済については、多くのアセアン諸国で、新型コロナウイルスの変異株を含めた新規感染者数の増加を受けた外出・移動制限措置の強化の影響で、景気下押し圧力の高い状態が続いていました。4－6月期の実質GDP（国内総生産）成長率は概ね市場予想を上回る結果となったものの、今後の経済見通しについては不透明感が高く、多くのアセアン諸国で下方修正が見られています。一方で、足元では総じて新規感染者数の大幅な増加には歯止めがかかりつつあり、ワクチン接種が徐々に進んできていることから、今後は外出・移動制限措置の段階的な緩和とそれに伴う経済活動の正常化により、景気見通しの不透明感の後退が期待されます。引き続き、アセアン諸国の新規感染者数やワクチン接種などの状況、入国制限や移動規制、景気下支えのための金融・財政政策の動向、アセアン諸国の政治リスクを注視する考えです。短期的には、新型コロナウイルス禍によるアセアン諸国の観光産業や国内消費の回復は不透明な状況が続くことが想定されます。一方で、中長期的には、内需の底堅い成長に加えて、サプライチェーン（供給網）の分断リスクへの懸念を受けた、中国からアセアン諸国への生産拠点の移転などによる投資の拡大を通じて、アセアン経済は堅調に推移すると見ています。
- ②アセアン諸国の株式市場と通貨の動向は、新型コロナウイルスの変異株を含めた新規感染者数やワクチン接種などの状況と各国政府による国境管理、行動制限などの政策動向に加えて、米国の金融政策の動向などにより、変動性の高い展開が続くことが想定されます。足元では、アセアン諸国の一部で、新規感染者数の減少や、外出・移動制限措置の緩和が発表されたことなどが好感されて、外国人投資家の資金流出傾向が反転し、8月月間で資金流入が見られています。今後、ワクチン接種が進展し、新規感染者数が明確に減少傾向に転じることで、経済環境の不透明感が徐々に後退し、さらなる投資家心理の改善や外国人投資家からの資金流入が期待されます。中長期的には、投資環境の改善に繋がる構造改革の進展や、中間所得者層の増加に伴う消費の拡大や高度化を通じた構造的な成長要因により、堅調に推移すると見ております。

・投資方針

銘柄選択は、アセアン諸国の高成長の恩恵を受け、バリュエーションが割安と判断される銘柄を中心に投資する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年9月15日～2021年9月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (新株予約権証券) (投資信託証券)	円 23 (23) (0) (0)	% 0.116 (0.115) (0.000) (0.001)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (新株予約権証券) (投資信託証券)	22 (22) (0) (0)	0.110 (0.110) (0.000) (0.001)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	42 (42) (0)	0.211 (0.210) (0.001)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	87	0.437	
期中の平均基準価額は、20,114円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年9月15日～2021年9月13日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 2	千米ドル 55	百株 -	千米ドル -
	シンガポール	1,935	千シンガポールドル 529	2,896	千シンガポールドル 1,132
	マレーシア	2,820 (2,294)	千リンギ 1,089 (-)	5,095	千リンギ 2,511
	タイ	6,953 (172)	千バーツ 28,442 (-)	20,160 (32)	千バーツ 33,290 (-)
国	フィリピン	10,894	千フィリピンペソ 28,691	4,952	千フィリピンペソ 34,845
	インドネシア	54,315 (9,706)	千ルピア 9,368,137 (359,132)	133,191 (428)	千ルピア 24,984,640 (157,821)
	ベトナム	110 (963)	千ドン 1,100,211 (73,639)	3,201 (-)	千ドン 13,905,880 (73,639)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外	マレーシア	証券 - (20,800)	千リンギ - (-)	証券 10,400 (10,400)	千リンギ 12 (-)
国	タイ	- (8,544)	千バーツ - (-)	8,544	千バーツ 41

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は権利割当、権利行使および権利行使期間満了などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	シンガポール	口	千シンガポールドル	口	千シンガポールドル
	MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	—	—	37,000	105
	KEPPEL DC REIT	—	—	46,500	118
	小計	—	—	83,500	224

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○株式売買比率

(2020年9月15日～2021年9月13日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	915,875千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	962,299千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.95

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月15日～2021年9月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年9月13日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
SEA LTD-ADR	6	8	260	28,638	娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	6 1	8 1	260 —	28,638 <3.1%>
(シンガポール)			千シンガポールドル		
SINGAPORE TECH ENGINEERING	2,160	1,570	596	48,897	航空宇宙・防衛
DBS GROUP HLDGS	405	315	958	78,588	銀行
CITY DEVELOPMENTS LTD	330	240	160	13,120	不動産管理・開発
SATS LTD	920	760	301	24,728	運送インフラ
CAPITALAND LIMITED	650	—	—	—	不動産管理・開発
UNITED OVERSEAS BANK	300	335	862	70,673	銀行
VENTURE CORP LTD	60	60	112	9,230	電子装置・機器・部品
SEMBCORP INDUSTRIES LTD	—	900	171	14,015	総合公益事業
WILMAR INTERNATIONAL LTD	250	324	135	11,100	食品
FIRST RESOURCES LTD	950	—	—	—	食品
RAFFLES MEDICAL GROUP LTD	—	560	77	6,379	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	6,025 9	5,064 9	3,376 —	276,733 <30.2%>
(マレーシア)			千リンギ		
MALAYSIA AIRPORTS HLDGS BHD	—	260	167	4,452	運送インフラ
RHB BANK BHD	3,500	2,000	1,090	28,939	銀行
TIME DOTCOM BHD	—	750	342	9,099	各種電気通信サービス
MISC BHD	1,000	—	—	—	海運業
MEGA FIRST CORP BHD	529	1,058	370	9,831	独立系発電事業者・エネルギー販売業者
SYARIKAT TAKAFUL MALAYSIA KELUARGA BERHA	600	370	162	4,302	保険
QL RESOURCES BHD	450	460	253	6,741	食品
BURSA MALAYSIA BHD	390	—	—	—	資本市場
SCIENTEX BHD	520	1,560	712	18,927	化学
IOI CORP	450	—	—	—	食品
SIME DARBY BERHAD	2,000	1,040	234	6,212	コングロマリット
INARI AMERTRON BHD	—	560	194	5,174	電子装置・機器・部品
CTOS DIGITAL BHD	—	1,400	259	6,876	専門サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	9,439 9	9,458 10	3,787 —	100,558 <11.0%>
(タイ)			千バーツ		
ADVANCED INFO SERVICE (F)	—	153	2,907	9,767	無線通信サービス
KASIKORNBANK PCL(F)	—	290	3,523	11,838	銀行
MINOR INTERNATIONAL PCL (F)	—	1,300	4,127	13,868	ホテル・レストラン・レジャー
CP ALL PCL-FOREIGN	1,400	430	2,655	8,921	食品・生活必需品小売り
CHAROEN POKPHAND FOODS (F)	1,000	—	—	—	食品
PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOREIGN	—	330	1,980	6,652	化学
BANGKOK CHAIN HOSPITAL-F	2,600	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
PTT PCL(F)	3,130	2,940	11,172	37,537	石油・ガス・消耗燃料
AIRPORTS OF THAILAND PCL(F)	1,240	880	5,346	17,962	運送インフラ
BANGKOK DUSIT MEDICAL SERVICE-F	—	3,150	7,087	23,814	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
CARABAO GROUP PCL-F	470	—	—	—	飲料

銘柄	株数	株数	評価額		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(タイ)	百株	百株	千バーツ	千円	
WHA CORP PCL-FOREIGN	27,000	14,300	4,433	14,894	不動産管理・開発
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	36,840 23,773	43,231 —	145,258 <15.9%>	
(フィリピン)			千フィリピンペソ		
GLOBE TELECOM INC	—	7	2,189	4,828	無線通信サービス
INTERNATIONAL CONTAINER TERMINAL SVCS	—	230	4,370	9,636	運送インフラ
SM PRIME HLDGS	3,000	2,050	6,857	15,121	不動産管理・開発
UNIVERSAL ROBINA CORP	380	—	—	—	食品
AYALA CORPORATION	55	—	—	—	コングロマリット
BDO UNIBANK INC	—	605	6,945	15,315	銀行
PUREGOLD PRICE CLUB INC	2,100	—	—	—	食品・生活必需品小売り
GT CAPITAL HOLDINGS INC	155	—	—	—	コングロマリット
MONDE NISSIN CORP	—	5,000	8,740	19,273	食品
WILCON DEPOT INC	—	3,740	10,378	22,886	専門小売り
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,690 11,632	39,480 —	87,062 <9.5%>	
(インドネシア)			千ルピア		
CIPUTRA DEVELOPMENT TBK PT	9,150	7,500	731,250	5,703	不動産管理・開発
BANK MANDIRI	2,000	1,300	806,000	6,286	銀行
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK PT	2,500	580	516,200	4,026	建設資材
BANK CENTRAL ASIA	2,630	2,080	6,780,800	52,890	銀行
JASA MARGA (PERSERO) TBK PT	3,000	—	—	—	運送インフラ
SURYA SEMESTA INTERNUSA PT	24,000	14,000	677,600	5,285	建設・土木
SURYA CITRA MEDIA PT TBK	—	2,500	512,500	3,997	メディア
SARANA MENARA NUSANTARA PT	27,000	—	—	—	各種電気通信サービス
TELEKOM INDONESIA PERSERO TBK	—	4,800	1,598,400	12,467	各種電気通信サービス
BANK BTPN SYARIAH TBK PT	2,000	—	—	—	銀行
INDUSTRI JAMU DAN FARMASI SI	8,850	8,350	655,475	5,112	パーソナル用品
DIGITAL MEDIATAMA MAXIMA TBK PT	34,091	3,600	1,198,800	9,350	ソフトウェア
BUKALAPAK.COM PT TBK	—	30,935	2,614,007	20,389	インターネット販売・通信販売
BANK JAGO TBK PT	—	1,978	2,932,859	22,876	銀行
MERDEKA COPPER GOLD TBK PT	47,000	15,000	4,230,000	32,994	金属・鉱業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	162,221 92,623	23,253,891 —	181,380 <19.8%>	
(ベトナム)			千ドン		
VIET NAM DAIRY PRODUCTS JSC	90	108	934,200	4,513	食品
IMEXPHARM PHARMACEUTICAL JSC	569	339	2,402,739	11,607	医薬品
SSI SECURITIES CORP	1,276	560	2,452,800	11,849	資本市場
SSI SECURITIES CORP-RTS	—	420	236,586	1,142	資本市場
KINH BAC CITY DEVELOPMENT SH	1,700	650	2,795,000	13,502	不動産管理・開発
BANK FOR FOREIGN TRADE JSC	280	150	1,488,000	7,188	銀行
SAIGON CARGO SERVICE CORP	180	180	2,534,400	12,243	航空貨物・物流サービス
PETROVIETNAM POWER CORP	1,350	1,000	1,210,000	5,845	独立系発電事業者・エネルギー販売業者
VINHOMES JSC	—	110	1,182,500	5,712	不動産管理・開発
HDBANK	500	300	777,000	3,753	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,945 8	3,817 10	16,013,225 —	77,359 <8.5%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	226,166 50	146,376 57	— —	896,991 <98.0%>

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

*株数・評価額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

2021年9月13日現在の組入れはございません。

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
(シンガポール)			口
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST			37,000
KEPPEL DC REIT			46,500
合 計		口	数
		銘	柄
			83,500
			2

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 896,991	% 97.7
コール・ローン等、その他	21,467	2.3
投資信託財産総額	918,458	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(908,145千円)の投資信託財産総額(918,458千円)に対する比率は98.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.98円、1シンガポールドル=81.96円、1リンギ=26.5498円、1バーツ=3.36円、1フィリピンペソ=2.2052円、1ルピア=0.0078円、100ドン=0.4831円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	918,458,385
コール・ローン等	17,482,267
株式(評価額)	896,991,644
未収入金	3,179,889
未収配当金	804,585
(B) 負債	3,056,500
未払解約金	3,056,498
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	915,401,885
元本	401,307,415
次期繰越損益金	514,094,470
(D) 受益権総口数	401,307,415口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,810円

(注) 期首元本額は562,464,686円、期中追加設定元本額は18,662,614円、期中一部解約元本額は179,819,885円、1口当たり純資産額は2,2810円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・アセアン・フォーカス) 401,307,415円

○損益の状況 (2020年9月15日～2021年9月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	21,164,715
受取配当金	21,167,854
受取利息	108
支払利息	△ 3,247
(B) 有価証券売買損益	297,224,760
売買益	329,053,036
売買損	△ 31,828,276
(C) 保管費用等	△ 2,118,654
(D) 当期損益金(A+B+C)	316,270,821
(E) 前期繰越損益金	364,549,661
(F) 追加信託差損益金	20,132,176
(G) 解約差損益金	△186,858,188
(H) 計(D+E+F+G)	514,094,470
次期繰越損益金(H)	514,094,470

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。